

「矛を止める」という思想

武道と格闘技の決定的な違い



「戈」 + 「止」 = 武

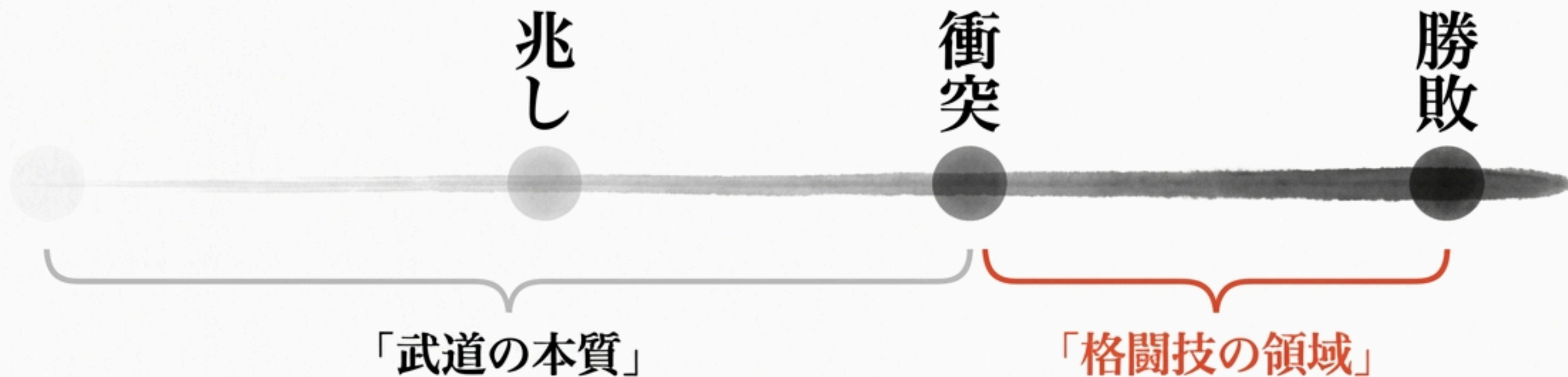
(矛 / Spear) (止める / Stop)

武とは戦うことそのものではない。
争いを止めることに、その本質がある。

評価軸の転換：格闘技と武道

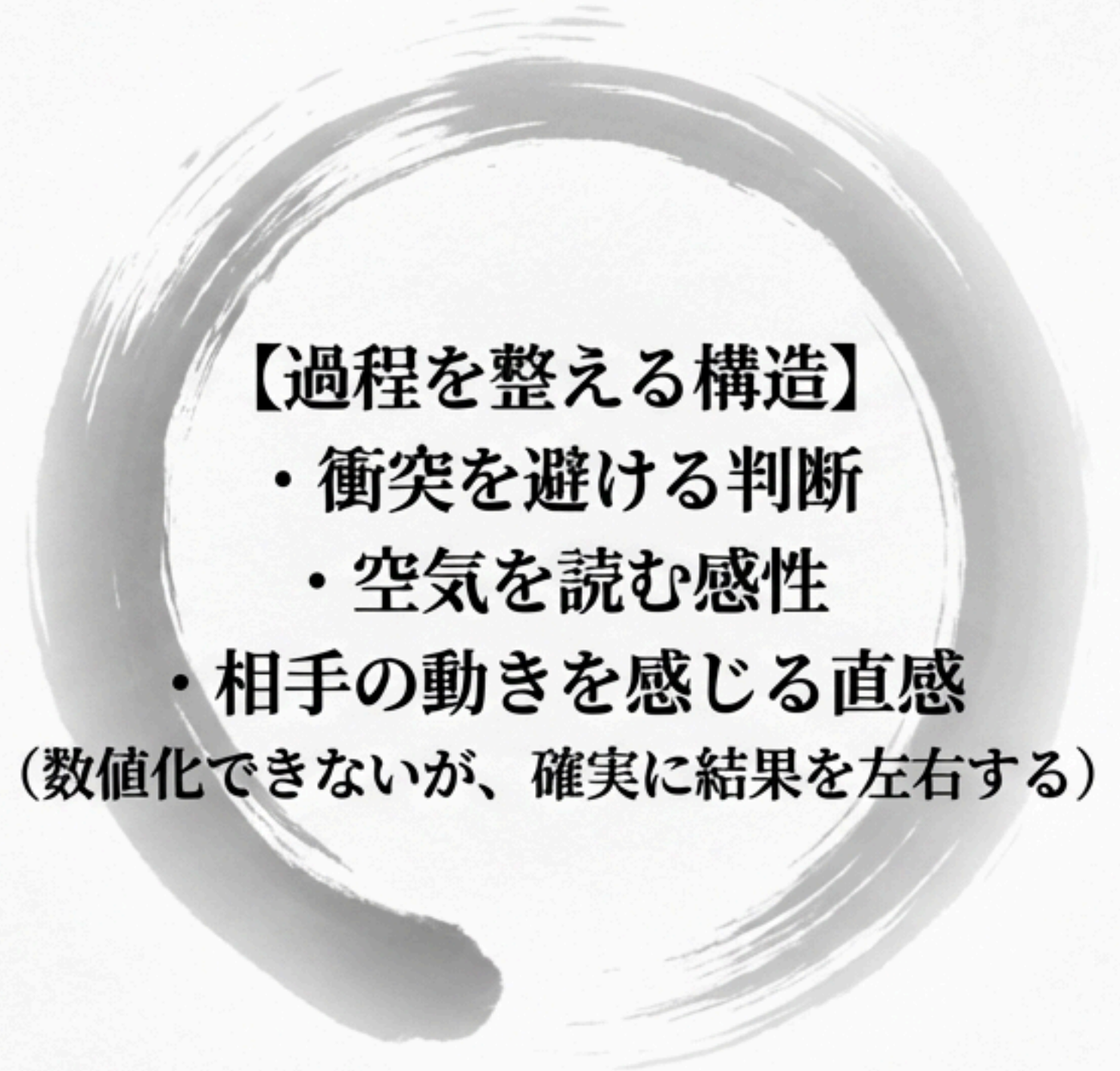
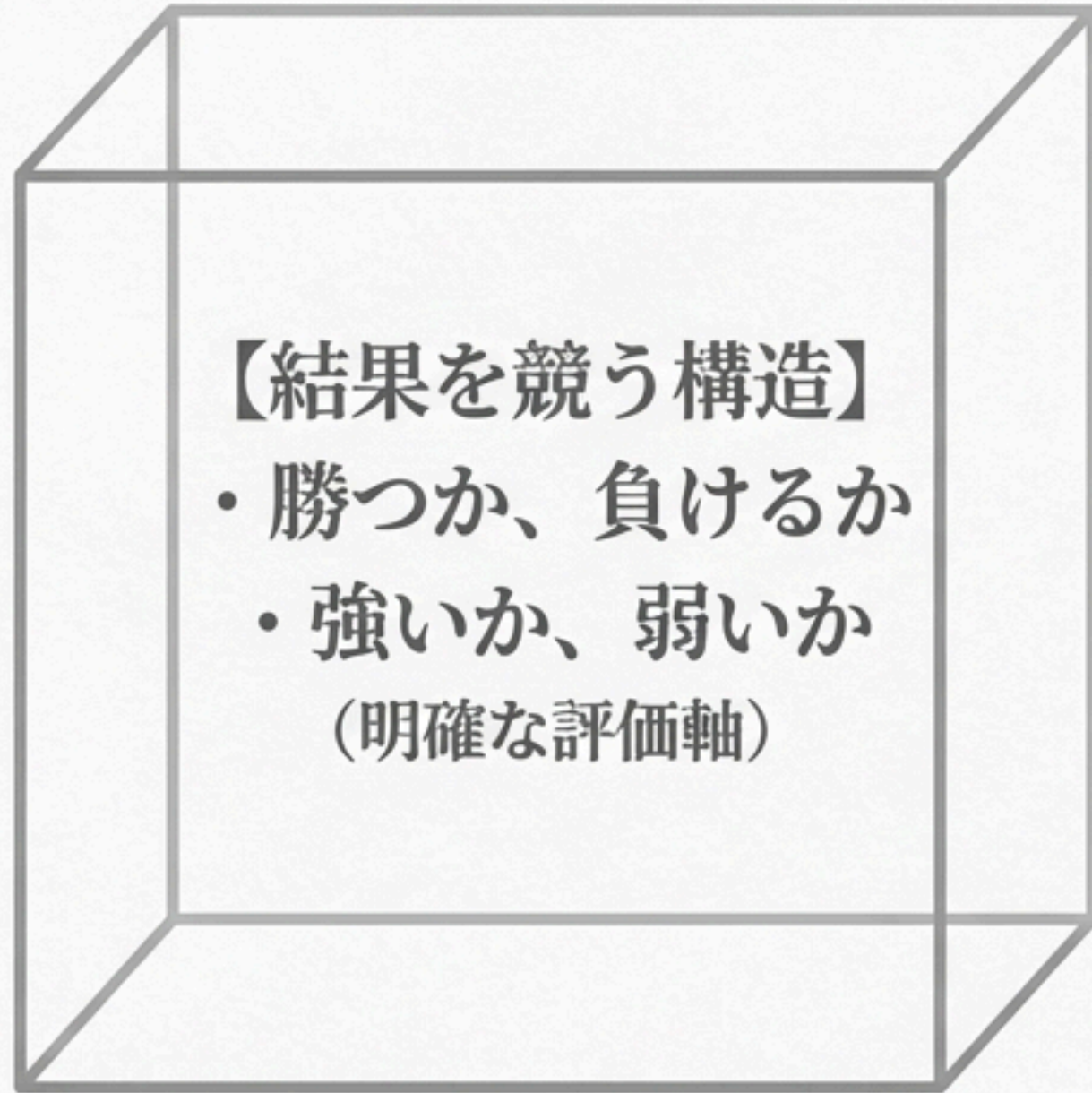
	格闘技	武道
目的	相手に打ち勝つこと	争いを起こさないこと
評価軸	勝敗という明確な結果	矛を止めるための在り方
焦点	ルールの中での強さの証明	問題の未然防止と被害の最小化
到達点	結果を競う	過程を整える

衝突のタイムライン



勝敗の前に、関係性がある。
衝突の前に、兆しがある。
それを感じ取り、整えること。

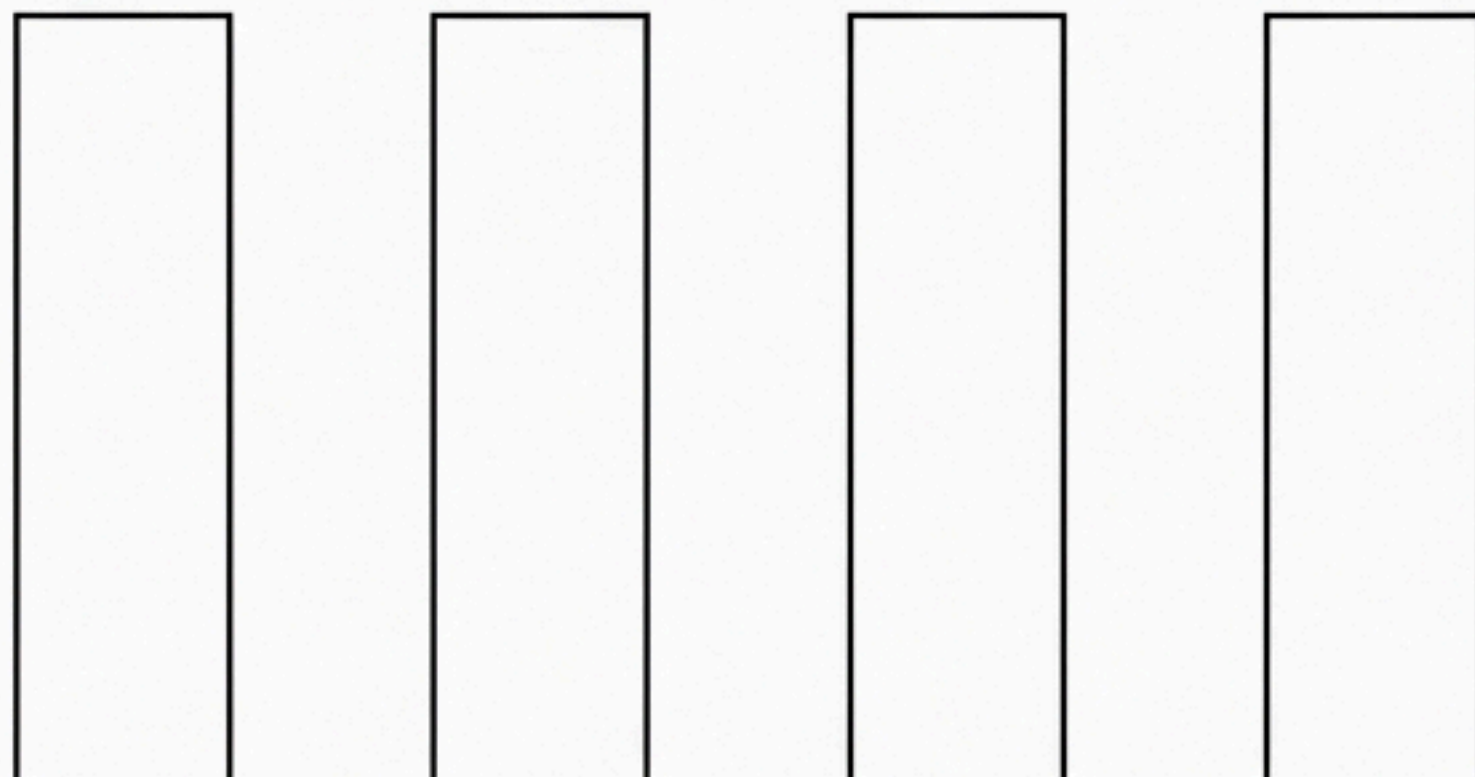
数値化できない強さの理屈



相手より強くなるためのものではなく、相手と争わないための技術。

現代における「武」の実践

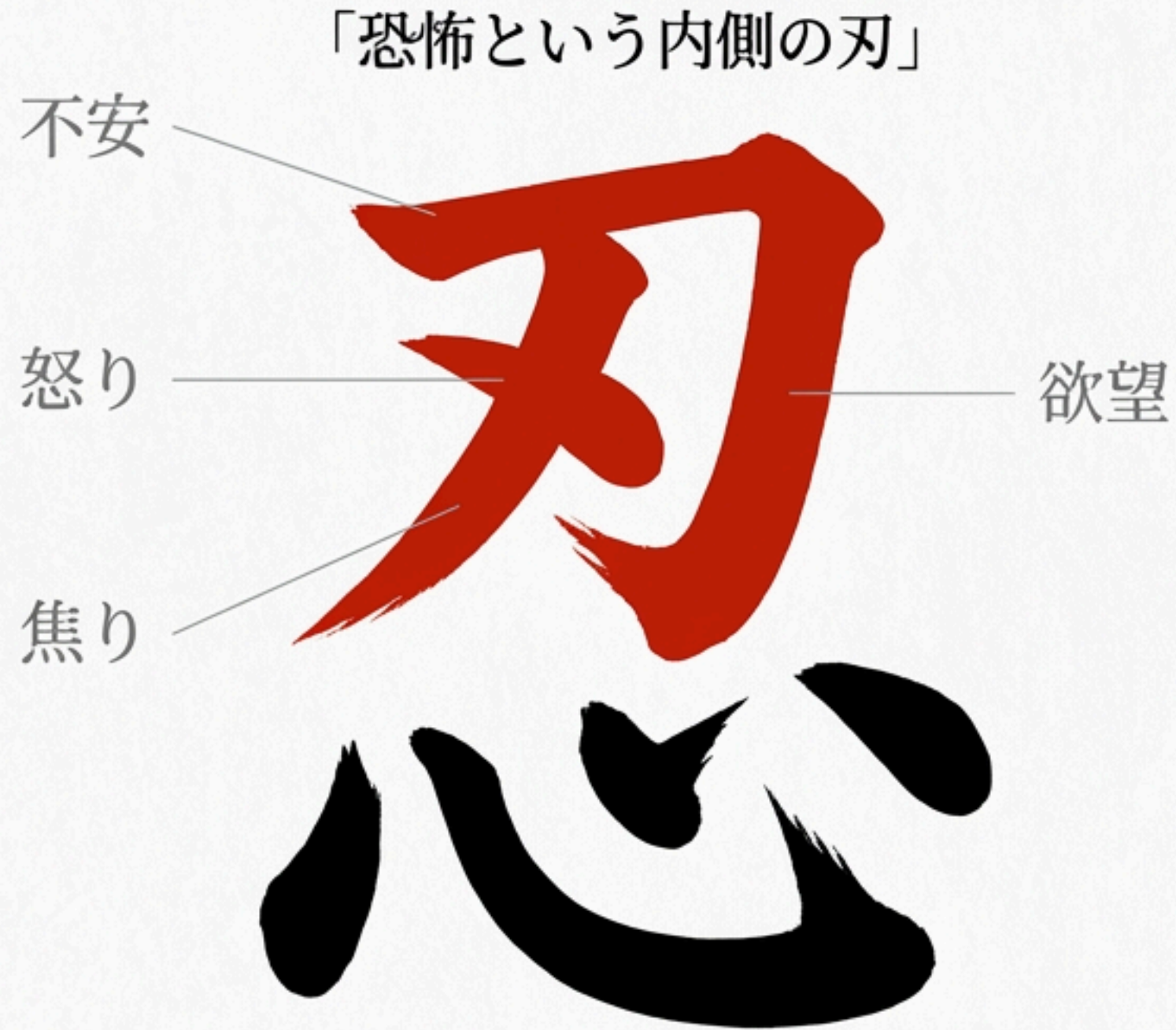
ビジネス 人間関係 投資 生活



TAOISM : 衝突を避ける力

- 無駄な争いをしない
- 不要な対立を生まない
- 感情に流されない
- 本質的な問題解決をする

内側の武：「忍べる武」



刃を振り回すことではない。
その刃の下に、心を置くこと。
感情に支配されず、冷静に在り続ける。
耐えるのではない。「整える」のである。

本当の強さとは何か。

倒す力か。

避ける力か。

整える力か。



TAOISMの教え：「整える」思想



本質を見抜き、理屈を理解し、徳を磨き、共同体と共に歩む。



武は戦うためのものではない。
生きるための思想である。



あなたは強さをどこに求めますか。
その選択が、あなたの人生の質を決めていく。

